

防災情報の共有化における課題の目的別整理(1)

課題等	解決の方向	解決策の例	
迅速、的確な防災体制づくり	より正確な被災状況の把握	情報の収集・発信の責任を明確化した情報伝達システムの構築 意味を厳密に定義した共通の用語の利用 縦割りの情報システムの長所を生かした迅速な情報伝達システム ヘリコプターの有効利用 防災情報のオンライン化と標準化 人工衛星等の画像を活用した被害早期把握システム 東京電力、東京ガス等ライフライン業者とのオンライン被害情報共有	
	ラフであっても全体像を迅速に把握	概算死者数の早期把握や死者数以外の指標の利用 平常時との画像の比較による被害把握システム 第一報の的確な共有 ヘリコプターカメラ画像の活用 ヘリコプターの災害時の運行のルール化	
	時間的・空間的な情報の空白を埋める	情報の空白期を推計値で埋めるシステムの構築 夜間の情報収集など条件が悪い場合の情報収集システムの構築 情報の受け手のリダンダンシーの確保 無人偵察機や人工衛星を利用した被害把握システム ヘリコプターの夜間運航を支援するランドマークの整備 防災モニター制度による情報収集 防災ボランティアネットワークとの連携による情報収集 防災ポータルサイトを通じた住民等からの防災情報収集 運送会社、タクシー会社社員からの災害情報の収集	
	防災関係機関内での防災情報の共有	防災機関における防災情報の横断的共有	情報の収集・発信の責任を明確化した情報伝達システムの構築 既存システムのネットワーク化による効率的なシステム整備 情報共有のためのプラットフォームの構築
		地方における防災情報の横断的共有	非常災害対策本部がなくても現地対策本部を機動的に設置 ITを活用して中央や地方の各機関の情報が迅速かつ確実に自治体に集約される仕組みの構築 具体的に制度化された情報伝達システム 消防部局と防災部局の連携 市町村から直接ヘリコプターを保有する自衛隊と連携できる仕組み 地方版共通プラットフォームの構築
		防災機関間の通信手段の確保	通信回線の多重化 通信施設の耐震化

注)この表は防災機関間における情報共有を中心に、これまでに委員から提起された課題等を現段階で整理したものであり、すべての事項について整理したものではない。

防災情報の共有化における課題の目的別整理(2)

課題等	解決の方向	解決策の例
防災関係機関・住民の的確な防災活動に繋がる情報提供	理解しやすい情報の伝達	確実に伝えるべき情報を単純化して市民一人一人に浸透させる
		情報の優先順位付け
		理解しやすい用語・情報の標準化
	実用的な防災情報の提供	防災情報同士の関連づけ(ex.病院の情報と道路交通規制の情報の関連づけ)
		安全な食料の入手のための情報システム整備
		住民等への効果的な防災情報の提供
災害時のシステムの有効活用	防災についての習熟	頻繁で的確な訓練の実施
		実際に起こりうるリアルな設定による訓練の実施
		避難所となる学校のマンパワーとソフトを有効に活用するシステムの構築
		情報システムを活用した訓練の実施
災害に強い地域づくり	平常時からの防災情報の提供	自衛隊などと防災関係機関の平常時からの連携
		住民の居住地に関する危険情報の提供や土地利用の規制誘導
	防災教育	次世代の災害を軽減するために次代をを担う子供達に災害の教訓を伝える教育
		災害の教訓を平常時の中に置き換えて伝える
		情報の共有を支える知識の共有
		声という媒体による伝承
要援護者、外国人に対する情報提供		ITの活用(ex.文字情報提供、多言語情報提供など)
		地域コミュニティとの連携
地域コミュニティとの連携	地域コミュニティの形成	土、日の学校解放による地域コミュニティの形成
		学校インターネットの活用による地域コミュニティの形成
		アナログな情報伝達
		災害時を見据えたコミュニティ支援策
		公衆電話設置に対する支援策
	ボランティア等の育成と支援	ボランティアの育成策
		ボランティアの活動分野に関する横断的情報共有
		自主防災組織の育成
マスメディアとの連携		商店街ネットワークの防災活動に対する支援
		マスメディアの活動の助けとなる情報の提供(ex.停電情報など、断片的であっても迅速な情報)
被災地外を含む社会全体との情報共有		風土や被災経験などの共通点に基づく広域連携
復旧・復興時の情報提供		

注)この表は防災機関間における情報共有を中心に、これまでに委員から提起された課題等を現段階で整理したものであり、すべての事項について整理したものではない。